

ルテウム[®]腔用坐剤を使用される方へ

挿入方法

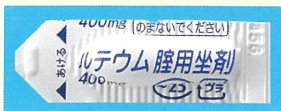
はじめに

トイレは済ませておき、手指を石けんできれいに洗いましょう。
爪は切っておいてください。



Step 1 お薬（腔用坐剤）を取り出します

パッケージを開けてお薬を取り出し、先の細い部分を
上にしてお薬を持ちます。開封のとき、指を切らない
ように気をつけてください。



〈お薬の持ち方〉



・・・ ご注意ください ・・・

お薬を長い間、手で持っていること、
体温で溶けることがあるので、開封
後はすみやかに挿入してください。

Step 2 お薬を腔の入口にあて、少し挿入します

楽な姿勢でお薬を腔の
入口にあて、お薬の先を
少し腔へ挿入します。



〈挿入時の姿勢〉

挿入時の楽な姿勢は、人によって異なります。
ご自身にあった姿勢で、お薬を入れて
ください。

しゃがむ

立位

片膝をつけて入れると
入りやすくなります。

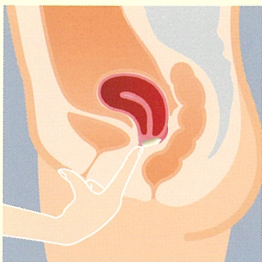


Step 3 お薬を押し込みます

おなかの力を抜いてリラックスし、指でお薬を
腔の奥まで押し込みます。

・・・ ポイント ・・・

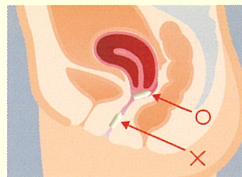
指は根元(第3関節)
まで入れて、でき
るだけ腔の奥に押し
込んでください。



※挿入後も手を洗いましょう。

〈挿入位置〉

挿入位置が浅いと違和感を感じることがあります。
図のように腔の一番奥に入れてください。



・・・ ご注意ください ・・・

お薬挿入後は通常通りの生活をして差し支えあり
ませんが、挿入後 20～30分は、歩行や入浴、激
しい運動を避けて、なるべく安静にしてください。
挿入後すぐにトイレに行くと、お薬が腔から出て
ることがあります。

医療関係者の指示に従ってご使用ください。

使用上の注意

- ▶ 腔内に挿入するお薬なので絶対に飲まないでください。
- ▶ 挿入後すぐにお薬が出てきた場合は、再度そのお薬を挿入してください。
- ▶ 挿入後しばらくして溶けたお薬が出てきた場合は、少量であれば問題ありません。大量の場合は、主治医に相談してください。
- ▶ 挿入し忘れた場合は主治医の指示に従ってください。
一般的には、気が付いた時点で挿入します。次の挿入時に気が付いたときは2回分を挿入せず1回分のみ挿入します。

保管上の注意

- ▶ 25℃以下の涼しい場所(冷蔵庫など)で保管してください。
ただし、0℃以下で保管するとひび割れが起こることがあるので、冷凍庫での保管は避けてください。
- ▶ 暑くなる車内などには、放置しないようにしてください。
- ▶ お薬を持ち歩く場合は、保冷剤・保冷袋を用意すると安心です。
- ▶ 一度溶けたお薬は使用しないでください。
- ▶ お子さんの手の届かないところに保管してください。

メモ欄



使用方法を動画で
ご確認ください